

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 8 日

Table with columns for business name, category, fiscal year, and project details. Includes '心身障害者(児)紙おむつ購入費助成事業' and '障がい者福祉の充実'.

法令根拠 桜川市心身障害者(児)紙おむつ助成実施要綱 [Do] 1. 事務事業の現状把握(その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on funding and application procedures.

Table with 2 main columns: ①手段 (担当者の活動内容) and ②対象 (誰、何を対象にしているのか). Includes metrics like '申請延べ人数' and '身体障害者手帳所持者数'.

Table with 2 main columns: ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか) and ④活動指標 (活動量を表す指標). Includes '購入費用の負担が軽減された延べ申請人数'.

Table with 2 main columns: ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標) and ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes '身体障害者手帳所持者数' and '購入費用の負担が軽減された延べ申請人数'.

Table with 2 main columns: (3) 投入量 (事業費) の推移 and (4) 当該年度の実施内容. Includes a detailed cost breakdown and a summary of activities for 2018, 2019, and 2020.

事務事業名	心身障害者(児)紙おむつ購入費助成事業	事務事業No.	20403000494	所属課	社会福祉課
-------	---------------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 在宅の常時紙おむつを必要とする心身障害者(児)に対し、紙おむつ購入費用を助成することにより、当該心身障害者(児)の衛生向上及び介護者の経費負担の軽減を図るために開始された。平成18年度までは65歳未満に限定されていたが、19年度から年齢制限を解除した。また、手帳を所持する心身障害者全体に範囲が拡大された。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 紙おむつ購入費用を助成することにより、当該心身障害者(児)の衛生の向上及びその家族の経済的負担の軽減を図っている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 在宅で障害者を介護する者の負担を軽減するため。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 介護者の負担が軽減されている。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 費用が増大し、経済的な負担が大きくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性ありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はない
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 障害や程度を限定することで事業費は削減できるが、助成を受けられなくなる者が出てくるため削減余地はない。人件費についても必要最低限であるので削減は困難である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 年間の助成限度額が決まっておりその範囲内で助成しているので偏りはない。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 紙おむつ購入費用を助成することにより、当該心身障害者(児)の衛生の向上及び介護者の経費の負担軽減を図ることができており、障害福祉の増進につながっている。																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																		
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成果		コスト			向上				維持		○			低下		
成果		コスト																	
	向上																		
	維持		○																
	低下																		
(6) 事務事業優先度評価結果																			
成果優先度評価結果	⑥																		
コスト削減優先度評価結果	②																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>